



みんなで考える 縮充のまちづくり

Shy

しゅくじゅう
縮充って
なに？

はじめに

2005年に誕生した佐用町。

それから20年が経ち

人口減少や少子・高齢化

ライフスタイルの変化や価値観の多様化など

まちが大きく変わってきています。

豊かな自然や人とのつながり

美味しい食や伝統的な文化・祭り

そしてまちに必要なサービスやインフラ。

当たり前だったことが、努力しなければ残していけない時代に。

これは、佐用町にかかわる人だれもが

まちの未来について共に考え、行動するための冊子です。

さあ一緒に「縮充のまちづくり」について考えてみましょう！！

目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

まちの歩み・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

まちの今・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

佐用町が目指す縮充のまちづくり・・・・・・4

2035年縮充した佐用町の姿・・・・・・・・・・6

縮充アイデアシートを使ってみよう・・・・・・8

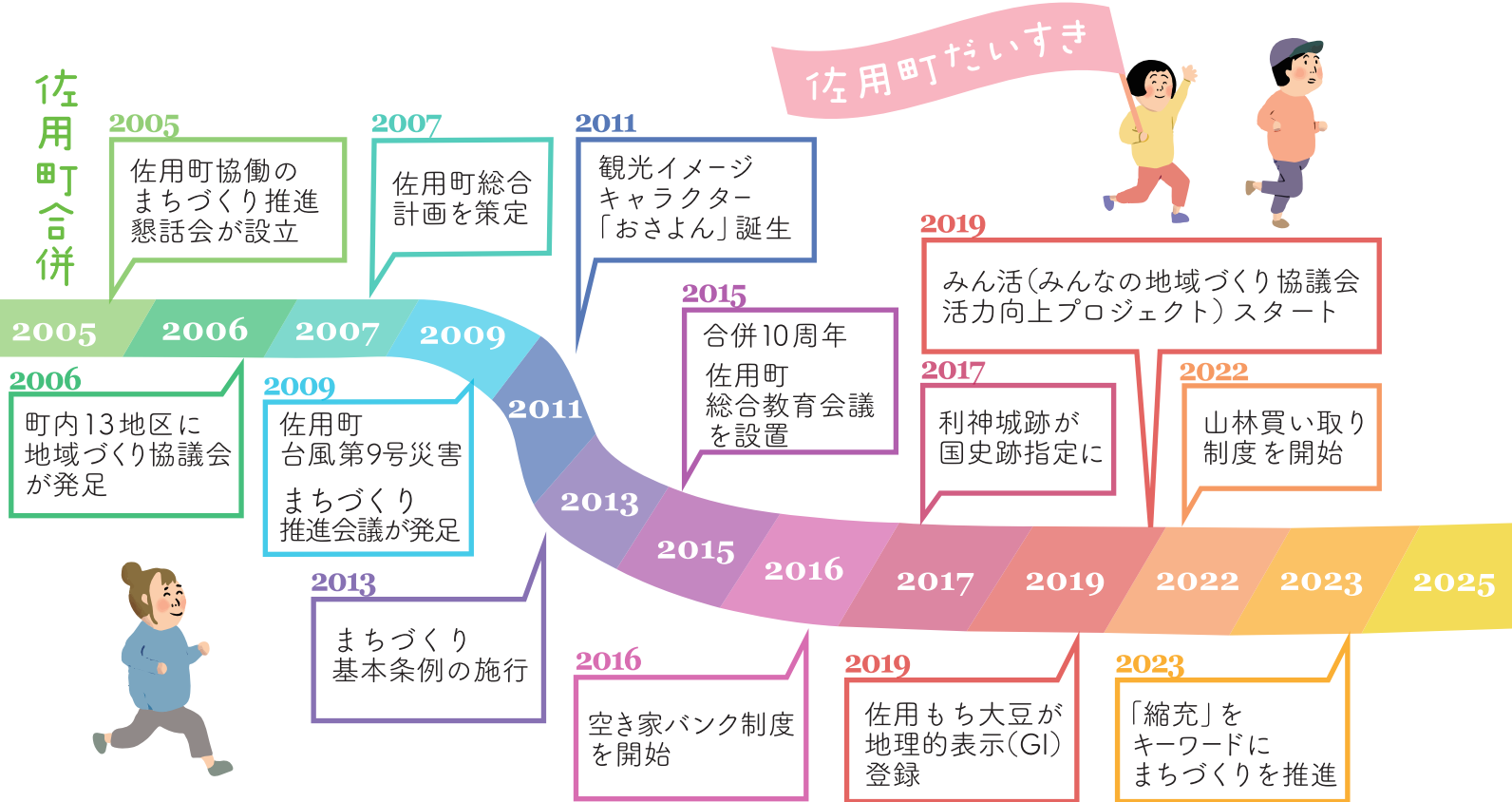
すでに進んでいる縮充の取り組み例・・・・・・9

「縮充のまちづくり」これまでのプロセス・・・・10

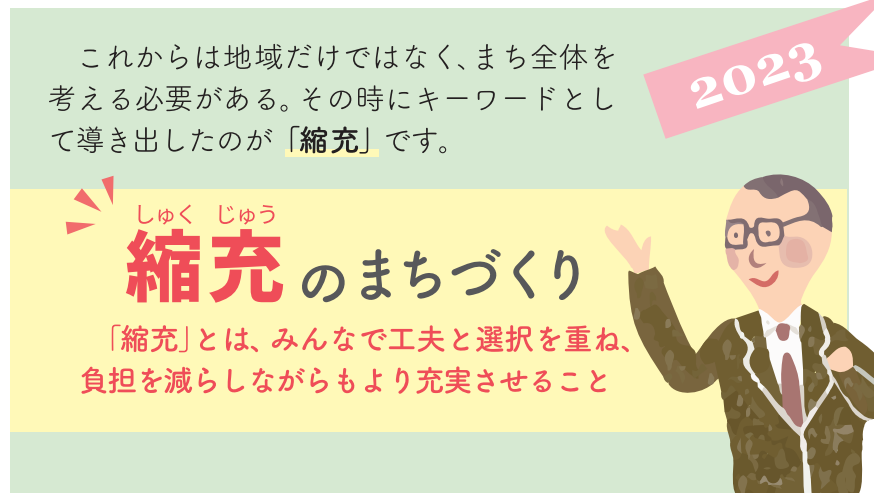
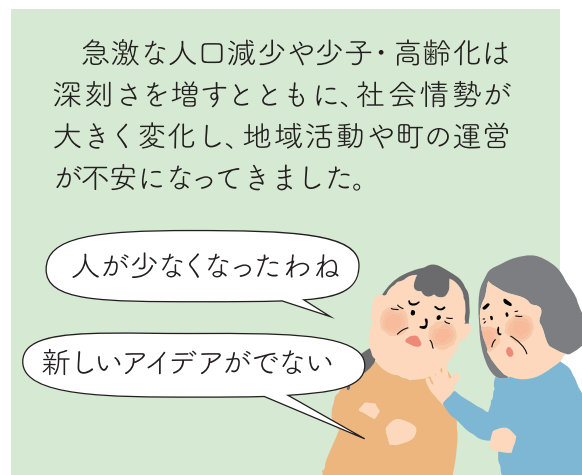
おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

まちの歩み

佐用町合併



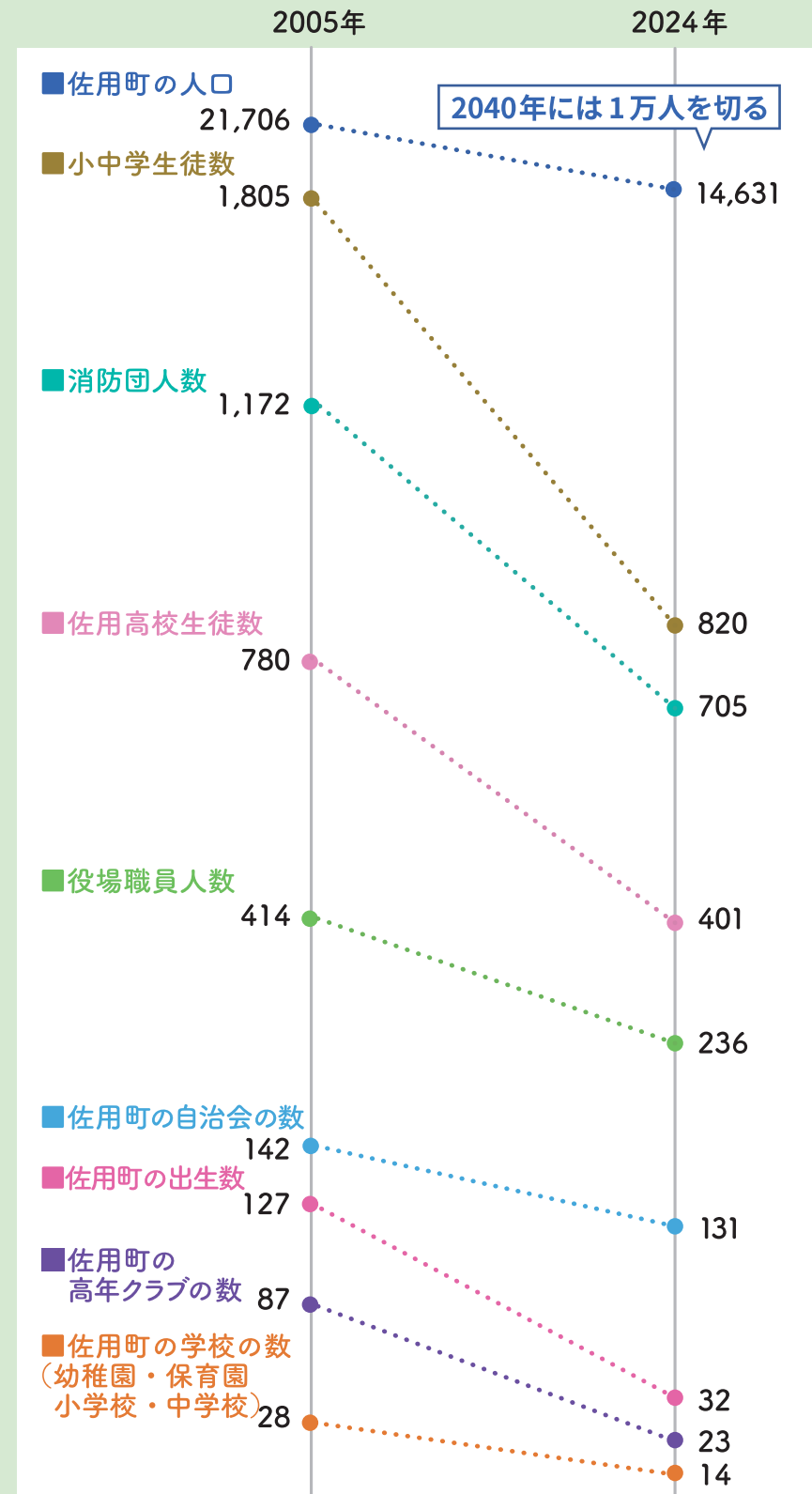
「縮充」というキーワード



まちの今

「もう人口は増えない」これからの佐用町では、いろいろなことが減少していくことは避けられない状況にあります。ただ、生活の基盤となる道路や水道等のインフラは維持しないといけないし、なにより、これからも「まち」はあり続けます。

そのような中でも、将来にわたって今と変わらず、安心安全で充実した生活を送ることができるよう、みんなで考えていく必要があります。



よく地域で耳にする困りごと

- ・地域の担い手がいらない
- ・病院とか学校、どうなるんやろ
- ・自治会の活動を維持できない
- ・車の運転やめたら、まちに出る手段がない
- ・管理してない田んぼが増えたな
- ・水道とか道路大丈夫やろか
- ・空き家増えてきたな
- ・お店の数減ったな
- ・草刈りがしんどいなあ
- ・いろんな会議に出なあかんくて忙しい
- ・地域の集会所が古くなって傷んでいる
- ・地域で集まる機会が減った
- ・地域に子どもがいなくなった
- ・若い世代は忙しいからなあ

佐用町がめざす縮充のまちづくり

さらに町の人口が減っていくなか、様々な場面でこれまでの「当たり前」が通用しなくなってきました。そうした背景のなか、私たちの考え方や行動も時代に合わせた変化が必要です。

佐用町がめざす「縮充のまちづくり」は、これまで佐用町が培ってきたものを活かしながら、言わば新しい価値観となるモノサシに差し替えることであると言えます。例えば、負担になっているものは積極的に「減少」を、ただ必要なことや大切にしたいことは「充実」させていくことが考えられます。

大切なのは、「これまで大切に出来ていなかったこと」「やっぱり大切にしたいこと」に改めて目を向けてみることに。そうした視点で、わたしたちの周りにある「当たり前」を見直してみよう。

考えてみました！

「これからさらに大切にしたいポイント」は縮充のまちづくり検討委員会で話し合いを重ねて見つけた縮充を実現するためのポイントです

縮充のPOINT



モノサシ(尺度)を変えるヒント 例えば・・・「数や量より、質や密度を大切にしてみる」「まずやってみることを大切にしてみよう」

ポジティブなつながりを
楽しむまち

楽しくつながる

- ・誰もが気軽に参加できる話し合い
- ・否定ではなくポジティブな気持ちで
- ・ここにおいても良いと思える居場所
- ・安心して暮らせるつながり

みんなで話せて
ほんまによかった！



チャレンジを
応援できるまち

やってみたいが叶う

- ・誰もがチャレンジできる
- ・子どものチャレンジをみんなで応援
- ・失敗を許せる寛容さ
- ・いろいろな学びのチャンス

失敗したって
ええやん

みんなで
応援しよう！



一人ひとりが主役にな
れるまち

みんなが主人公

- ・性別や属性によらない活躍の場や役割
- ・一人ひとりの自分らしい生き方を
- ・女性や若者・子どもの想いを大切に
- ・価値観や考え方の違いを尊重

だれもが主役
そんなまちって
素敵やな



未来を考え
出来るところから始める。

身の丈にあった
見直し

- ・これまでの当たり前を見つめ直す
- ・小さな変化から暮らしを豊かに
- ・未来を見据えて考えよう
- ・行政サービスや施設も例外なく

これまでどおりはもう無理やで
身近なことから
考えよう

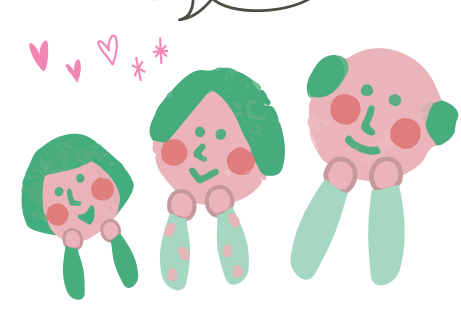


我がまちを誇りに思う

さようが好き

- ・さよの良さを次世代につなぐ
- ・正しく知って、まちへの愛着や誇りを
- ・楽しい、おいしいといった経験を
- ・守っていくための工夫が大切

ほんまにさよのこと
知っとお？



小さくても少なくても

こころ豊かでしあわせと思えるまち



これからさらに大切にしたいポイント

縮充アイデアシートでいつもの活動や これからの取り組みを見つめ直してみよう

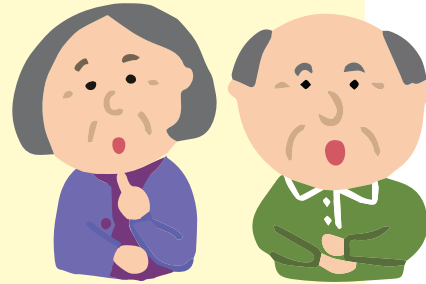
縮充アイデアシートの説明

このシートは身の回りの困っていることや変えたいこと、工夫したいことに縮充の視点でアイデアを出す道具です。

- 1 自分の身近なもので困っていること、変えたいと思っていることなど
気になることを真ん中の枠に書きます。
- 2 周りにある①から⑧を順番に考えていきます。
アイデアが出なければ飛ばしながら進めてください。

- ・ひとりでやるのもOK、みんなでやるのもOK。
- ・質より量！いっぱいアイデアを出すのが大事。
- ・人のアイデアへの便乗大歓迎。
- ・あくまでもアイデアを出す道具として。

いろいろなアイデアを組み合わせよう！！



例えばこんな使い方

①思い切ってやめたらどうなる？ ・地域の集まりが減るからさみしい ・役員は楽になるよね 【ヒント】 もしかしてやめてもあんまり困らない？	②身の丈にあった活動や取り組みにするには何を変える？ ・自分たちで出してお店を業者さんをお願いしよっか。 【ヒント】 今は、適切な規模や回数・方法だろうか？	③すぐに変えられそうなことってどんなこと？ ・まず祭りについて、みんなで話し合い、意見が欲しい。 【ヒント】 次から変えられることってどんなことがある？
④どんなことがあれば楽しくなりそう？ ・子どもたちがお店を出したらどお？ 【ヒント】 どんなことがあれば楽しくおもしろくなりそう？	【困っていること、変えたいことなど】 地域の祭り	⑤もっとシンプル・小規模にしたら？ ・運営する負担が減りそう！ 【ヒント】 あえて小さくしぼって見たらどんなことが起きる？
⑥もっといろんな人が参加できる ・企画段階から関わってもらう人を募集してみよう！！ 【ヒント】 いつもの人以外が参加できるようにするにはなにをしたらいい？	⑦どんな人が関わりと良くなりそう？ ・やっぱり若者、女性に関わって欲しいなあ。 【ヒント】 ここに来てほしい関わってほしい人って誰？	⑧一見関係なさそうなアイデアを掛け合わせたら？ ・企業にも声をかけてみよう。従業員の方も関わってくれるかも。 【ヒント】 全然関係なさそうなところにアイデアが！

考えに詰まったら使ってみよう！キーワード集

つながり・チャレンジ・居場所・対話・役割・働き方・学び・新しい価値観・コミュニケーション・楽しむ・工夫する・話し合っつくる・応援する・見直す・認め合う・変える・尊重する・やめる・つながる・一緒にする・分けあう・共有する・話をきく・受け入れる・実現する・気軽にやる・余白や余裕がある・寛容さ・愛着がある

すでに進んでいる縮充の取り組み例

事例1：消防団活動の見直し



屋外で立ち姿勢での出初式、途中倒れてしまう方も…



屋内で座った状態での出初式



実践活動の充実

消防団では今後の活動について全分団員へのアンケートを実施、全分団幹部と団本部・事務局が意見交換を丁寧に行ってきました。その結果を踏まえ、出初式や操法大会の負担を大幅に軽減する一方、実践的な訓練などを充実させることで、真にやりがいがあり、地域に貢献する消防団活動をめざしています。

事例2：会議の進め方の変化



対話で参加



最近の行政主催の会議は、役場から報告をするだけでなく、参加者同士が対話する機会をつくることで一人ひとりが発言しやすい場としています。また、これらの会議では住民代表として各種団体からの、いわゆる充て職が多くあり、一部の会長に負担が集中していました。そのため、ある会議では「会の代表であれば、会長や副会長でなくてもよい」としています。さらに会議参加者は可能な限り必要最低限の人数とするなど負担を減らし、参加しやすい会議になるよう工夫しています。

事例3：若者のチャレンジを応援

町では、若者のチャレンジを応援する「若者グループ活動 応援事業」を実施しています。若者の「やってみたい」という気持ちを叶えるとともに、今までまちづくりに触れる機会が少なかった世代がまちづくりに参加するきっかけとなっています。



「縮充のまちづくり」これまでのプロセス



縮充のまちづくり検討委員会

町民、有識者、役場職員で
縮充の方向性を考えました。

作野広和 / 柏木登起 / 西川正 / 衣畑真一 / 阪東新一郎 /
加藤政男 / 眞岡克憲 / 井上洋文 / 武内義信 / 井口覚 /
矢内正敏 / 福田範康 / 谷口好美 / 神原重喜 / 大久保真理 /
眞鍋 愛 / 村上晃宏 / 後藤亮平 / 幸田和彦 / 笹谷一博 /
大下順世 / 山崎二郎 / 宇多雅弘 / 三浦秀忠 / 高見浩樹

- ・第1回（令和5年12月6日） 各委員の立場から困りごと等の意見交換
- ・第2回（令和6年2月28日） ワークショップ
「未来の佐用町での充実した生活って具体的にどんな状態？」
- ・第3回（令和6年6月7日） ワークショップ
「未来の佐用町での充実した生活に向けて」
- ・第4回（令和6年8月23日） これまでの意見交換、ワークショップを経て見えてきた方向性の検討
- ・第5回（令和6年11月28日） 方針素案について検討①
- ・第6回（令和7年2月19日） 方針素案について検討②
- ・延長戦（令和7年3月28日） 方針素案について検討③

ミライカイギ実行委員会

若者が集まって佐用町のミライについて話しています。



- ・第1回（令和5年10月30日） 佐用町の現状とミライカイギ実行委員会
- ・第2回（令和5年12月11日） ①自分が思う充実した生活は？
②ミライカイギの輪を広げていくには？
- ・第3回（令和6年2月28日） ①どんな場があれば「充」？
②ミライカイギこうしたいな
- ・第4回（令和6年5月30日） フリートーク
- ・スピンオフ：1回飲み会しよう！



縮充戦略会議

行政でも縮充を検討しています。

- ・第1回（令和5年12月1日） 縮充のまちづくりの実現に向けて
- ・第2回（令和6年2月5日） 副町長講話「縮充のまちづくり～賢く縮みながら、縮充をめざす～」
ワークショップ「行政の縮・充・縮充のまちづくりに思うこと」
- ・番外編（令和7年1月27日、1月31日） 職員向け町長講話「縮充のまちづくり講話」
（全職員対象）

※会議の内容など詳細については資料編をご覧ください



会議の詳細内容

おわりに

どんなに時代が変わっても
このまちが私たちの大切なふるさとであり
働き、学び、暮らしていくことは変わらない。
だからこそ
未来へつないでいきたいのはみんなの願い。

変えていくこと
新しくチャレンジすること
多様な価値観を受け入れていくこと
これまでと違うことは、とても不安で、手間や時間がかかるけど
未来のために取り組みたい。

大切にしたいのは
まちの将来を自分たちのこととして考え、話し合い
大事にしたいかどうかを見極めながら
選択と工夫を重ねていくこと。

だれもがこのまちでこころ豊かでしあわせに暮らしていくために。



発行

佐用町企画防災課
Designed by 睦

